

くじ引きの方法

落札者（落札候補者）が2者以上同額となった場合の「くじ」による落札者の決定は、以下のとおり行う。

1 入札（見積）書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄に、入札書提出時にあらかじめ任意の3桁の数字「000～999」を記入する。（全ての桁に記入が必要）

なお、**1文字でも記入のない場合や1文字でも判別できない数字がある場合などは**、奈良県広域消防組合競争入札等参加資格審査申請（以下「申請」という。）において返却した「参加資格審査申請受領書に記載している受付番号（以下「受付番号」という。）」の**下1桁を連続した3桁として取扱う。**

注) くじ番号の取扱い例

申請時の受付番号	記入されたくじ番号			くじ番号が判別できる場合	1文字でも記入のない場合又は1文字でも判別できない場合
5-119	8	7	5	875	999
6-225	2	6	9	269	555
7-22	1	1	9	119	222
5-22	4	0	0	400	222

2 くじの手順


- ① 同額入札者の申請時の受付番号の下3桁（－「ハイフン」より下の数字をいう。なお、3桁に満たない場合は、頭に「0」を加えるものとする。）の小さいものから順に0から始まる「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。
 ※ 下3桁が同一の数字の場合は、上2桁（－「ハイフン」より上の数字をいう。なお、2桁に満たない場合は、頭に「0」を加えるものとする。）の小さいものに若い番号を付与する。
- ② 同額となった入札書に記入された「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札者の数で除し、「余り」を算出する。
- ③ 上記①の「抽選番号」と上記②の「余り」が一致した者を落札者（落札候補者）とする。

4者が同額入札を行った場合のくじ手順（例）

- ① 「抽選番号」を付与する。

業者名	申請時の受付番号	下3桁	上2桁	付与された抽選番号
A業者	5-119	119	05	2
B業者	6-225	225	06	3
C業者	7-22	022	07	0
D業者	5-22	022	05	1

- ② 「くじ番号」の合計を同額入札者数で除し、「余り」を算出する。

業者名	くじ番号		余りの算出
A業者	875		$875 + 269 + 119 + 400 = 1,663$ $1,663 \div 4 \text{ 者} = 415 \text{ (余り} \dots \mathbf{3})$
B業者	269		
C業者	119		
D業者	400		

- ③ 落札者（落札候補者）を決定する。

業者名	付与された抽選番号	余り	落札者（落札候補者）の決定
A業者	2	3	－
B業者	3		落札者（落札候補者）
C業者	0		－
D業者	1		－

くじ番号を付す入札書の記入例

くじ番号

1

1

9

入

- ・「000～999」の任意の3桁の数字を記入すること。
- ・1文字でも記入のない場合や文字の判別がつかない場合は、受付番号の下1桁を連続した3桁として取扱う。(くじ引きの方法 参照)

金 円 (消費税抜)

ただし、〇〇〇工事設計業務

入札保証金 免除

上記のとおり入札します。

入札年月日 令和 年 月 日

奈良県広域消防組合

管 理 者 様

所 在 地

商号又は名称

入 札 者 名

(代 理 人 名)

印